

おんがく



第85号

2011年11月(年2回発行)
発行 名古屋市中区新栄町2-9
スカイオアシス栄校
名古屋音楽学校
電話 973-3456
編集 名古屋音楽学校機関誌
おんがく編集委員会

第153回研究会

アンジェイ・ヤシンスキ ピアノ公開講座

アンジェイ・ヤシンスキ先生は国立カトヴィツェ高等音楽院を1959年優等賞で卒業、1960年にトリノでデビューし、その後ドイツ、フランス、日本などで数多くのコンサートを開催し、またK・ツイメルマンやK・ヤブウォンスキなど優秀なピアニ

ストを育て、数多くの国際コンクールの審査員を務められています。特に第15回、第16回のシヨパン国際ピアノコンクールの審査委員長を務め、シヨパンに大変造詣の深いヤシンスキ先生の講座とあって、多くの聴講者が集まり期待の中での開催になりました。

11年9月7日(水)、名古屋音楽学校で第153回研究会、アンジェイ・ヤシンスキ ピアノ公開講座(レクチャーレッスン)を開催しました。



ヤシンスキ先生

講座の前半は、シヨパンの練習曲、夜想曲、マズルカ、ポロネーズの練習や演奏に関する問題点を中心にした内容で、モーツァルトの作品の持つ美しさや人間的な感情の類似点から始まり、モーツァルト、シヨパンの作品を数多く演奏を交えながら、ヤシンスキ先生のシヨパンへの想い、具体的に深い内容、そして分かりやすい練習方法、表現方法の説明などシヨパンの香りが一杯のレクチャーとなりました。

後半は、ピアノの公開レッスンで、曲目はシヨパンのポロネーズ第7番変イ長調「幻想」op.61、モデルは井藤真緒さん(愛知県立芸術大学卒業、同大学院博士前期課程1年在学)で、熱心な演奏にヤシンスキ先生からひとつひとつの音色の響き、ペダルの使い方、小節のイメージなど丁寧で温かいアドバイスを石原佳世さんが分かりやすく通訳されました。



石原佳世さん 井藤真緒さん ヤシンスキ先生

演奏を数多く交えてのレクチャーと公開レッスン、内容の濃い講座で、ヤシンスキ先生の豊かな音楽を感じたと聴講者の方からも好評をいただきました。

公開レッスンのモデルをしていただいた井藤真緒さんからコメントをいただきました。

今回、アンジェイ・ヤシンスキ先生の公開レッスンを受けさせていただきました。ありがとうございました。

この幻想ポロネーズは私の憧れの作品であると同時に、私にとっても難解な作品でもありました。どのようなイメージをもっていかか悩んでいましたが、今回のレッスンでまた大きなヒントを得ることができました。

ポロネーズというリズムの捉え方や拍の感じ方、また心の振動を音にするということなどを、先生はユーモアを交え分かりやすく指導してください、とても勉強になりました。また、他には、曲の中のある旋律がシヨパンの歌曲にも用いられているというお話や、シヨパンが過去・現在・未来を見据えて曲を書いたというお話もとても印象的でした。

今回の経験を活かし、これからも精進してまいります。この様な機会を与えて下さった名古屋音楽学校の皆様にお礼を申し上げます。

井藤 真緒

全日本学生音楽コンクール 全国大会バイオリン部門 受賞記念リサイタル

5月21日(土)、第64回全日本学生音楽コンクールバイオリン部門全国大会中学校の部第一位の徳田真侑さんと小学校の部第二位の安田理沙さんのヴァイオリンリサイタルが音楽学校ホールで行なわれました。

最初に安田理沙さんが、コンクールで弾いたラロの「スペイン交響曲ニ短調作品21」をはじめ3曲、そして徳田真侑さんはベートーベンの「ヴァイオリンソナタ第五番作品24第一楽章」をはじめ2曲を自分で曲を紹介しての演奏となりました。お客さまからは、「大変素敵な演奏でした」との感想をいただきました。

安田さん、徳田さんのお二人から次のようなメッセージをいただきました。

徳田 真侑さん

受賞記念リサイタルでは、たくさんの方にお越しいただきましてありがとうございます。

当日演奏しましたベートーベンのスプリングソナタは、私の出会った春の風景を少しでも感じていただけるように演奏しました。また、初めてソナタを全楽章弾かせていただき、とても勉強になりました。今回、演奏会の準備をするにあたり、演奏会はコンクールとは違

い、聴衆の皆様を意識した音楽作りも必要になってくるように思いました。これからも、それぞれの舞台において、自分のベストを尽くすことができるように頑張りたいと思います。



徳田真侑さん

思いません。

安田 理沙さん

この度は、素晴らしい機会をありがとうございました。そしてたくさんのお客様が聴きにきて下さりとても嬉しくおもいました。

リサイタルまでの準備は大変でしたが、本番ではそれぞれの曲を楽しみながら演奏することができました。特に、ラロの「スペイン交響曲」はコンクールで入賞した曲でもあり特別な気持ちで弾きました。音楽を勉強している私にとってリサイタルはとても勉強になります。



安田理沙さん

大好きな曲と心地よい響きのホルンで幸せな時間でした。

第65回全日本学生音楽コンクール 名古屋本選結果発表

今年も当校の生徒が活躍しました。

バイオリン部門	
小学校 第1位	安田 理沙
第2位	水越 菜生
第3位	幸村 和奏
高校 第1位	松山 京加
ピアノ部門	
中学校 第3位	鈴木 杏奈
高校 第2位	太田 沙耶
フルート部門	
中学校 第2位	磯村 尚

アフタヌーンコンサート ピアノ デュオ

7月2日(土) PM1時30分から、当校講師の清水皇樹先生と清水敦子夫妻によるアフタヌーンコンサートが行われました。

当日は梅雨にも関わらず晴れ間がのぞく天気になり、多くの方がお越しになりました。

プログラムは、ビゼー作曲「カレルメン」、シューベルト作曲「幻想曲へ単調」、そしてサン・サーンス作曲「死の舞踏」の3曲を清水皇樹講師が、曲の紹介をしての演奏となりました。特に「死の舞踏」は午前0時の時計の音とともに骸骨が現れて不気味に踊り始める……と曲全体の流れを話されるからの演奏でお客様もその情景を想像しながら聞き入っていました。

た。

ダイナミックにそして繊細に二人の息もぴったりの演奏となりました。そして、アンコール曲はモーツァルトのK545の第1楽章と、東日本大震災で被災した方々への鎮魂の曲として「千の風



清水敦子さん 清水皇樹先生

になって」を演奏し、お客様も一緒に震災からの復興を祈願しました。演奏が終わると会場は大きな拍手に包まれました。

クラシック音楽と朗読の 平家物語

9月3日(土)、この日は、台風12号が近づいていましたが、影響も少なくPM2時から行われました。美しい日本語の響きと、クラシック音楽の名曲が融合する企画は今回が初めての試みとあって、お客様も楽しみに開演を待ちました。

TVやラジオで活躍中の上田定行さんの司会で プログラムは、G線上のアリアで始まり、第1景「静御前」第2景「那須与一」、第3景「壇の浦」第4景「建礼門院の最期」を国内はもとより、ロサンゼルスやサンフランシスコで活躍中の舞台朗読人、堀田紀真さんの絶妙の語りと、そして、語りをはさんでそれぞれ2曲、当校講師の松田宣正先生が、作曲した曲「ハルマゲドンの戦い」と編曲された、サン・サーンスの「白鳥」、リストの「愛の夢」など7曲が演奏されました。

演奏は、ピアノをピアニストで愛知教育大学教授の武本京子さん、それにヴァイオリン2名とチェロが加わり、日本の優れた古典文学「平家物語」とみごとに調和した演奏となりました。古典文学とクラシック音楽、この一見結びつかない二つが融合した華々しい、新しい舞台になりました。来場のお客様も普段はなかなか見ることのできない舞台を観たと大変満足の様子でした。



堀田紀真さん

パリ・エコール・ノルマル音楽院 入学及びディプロム 取得試験を終えて

パリ・エコール・ノルマル音楽院
2010〜2011年度、入学及
びディプロム取得試験が終了した。
今年も、パリ・エコール・ノル
マル音楽院副学長ジャン・ルイ・
マンサール先生と同音楽院教授中
沖玲子先生（当校特別レッスン講
師）と共に、入学オーディション
を5月7日当校ホールで行った。
入学者3名（ピアノ2名、クラリ
ネット1名）。オーディション後、
質疑応答があり、マンサール先生
は丁寧に質問に答えられていまし
た。

ディプロム一次試験も、同日に
当校ホールにて行い、4名全員が
合格（アンセニューモン3名、エ
グゼキューション1名）。パリ本
校で行われる二次（卒業）試験に対
し個々にアドバイスがありました。
パリ・エコール・ノルマル音楽院
コルトホールで行われるディプロ
ム試験は、6月20日から22日の期
間であり、当校の生徒は20日4e二
年生3名が受け全員合格。21・22
日試験の5eアンセニューモンは2
名が合格でした。
受験生の日々努力と成果の結果で
あるが、アンセニューモンで、小
森野枝さんが称賛賞と審査員満場
一致の最高点合格。福田真弓さん
も審査員全員一致の合格でした。

パリ・エコール・ノルマル音楽院 留学を終えて

丹羽祥子さんからの便り

パリ・エコール・ノルマル音楽
院で約1年間留学し、この度帰国
された丹羽祥子さんからパリでの
生活などについてお便りをいただ
きました。

私がパリに留学したいと思った
きっかけは、高校3年の時に、名
古屋音楽学校からパリ・エコール・
ノルマル音楽院のディプロマ試験
を受けに行った事でした。この時
からヨーロッパの空気を肌で感じ
て音楽の勉強をしてみたいという
憧れを持つようになり、昨年名古
屋での入学試験でスカラシップを
いただき、1年間エコール・ノル
マル音楽院で学びました。

留学生活が始まる前は、生活面
や言葉の壁など不安でしたが、留
学中に滞在したシテ・デザールは
パリの中心地にあり、歩いて行
ける距離にい
ろいろな店が
あったのでと
ても便利でし
た。「日本食
が恋しいな」
という時は、
オペラ地区の
日本人街で食
材を買って、
寮のキッチン
で自炊したり



シテ・デザール入口にて

していました。また近くにノート
ルダム聖堂やセーヌ川があり、寮
で練習してちょっと疲れたらセー
ヌ川沿いを教会まで散歩したり、
マレ地区やサンルイ島を散策した
りして気分転換できました。

エコール・ノルマルではヴェロ
ヌク・ボンカール先生のクラス
に在籍し、レッスンは週に1回、
自分の前後の生徒さんのレッスン
を自由に見学出来る公開レッスン
のような形で行われました。レッ
スンでは指使いの練習の仕方など
から、フレーズの歌い方やイメー
ジまで、多くの事を学ばせていた
だきました。「最初の音で聴いて
いる人を惹きつけて！」「ひとつ
ひとつの音に光が灯っているよう
に」など先生からいただいたアド
バイスは強く印象に残っています。
ディプロマ試験では、バロック
から現代まで幅広い作曲家からプ
ログラムを決めるので作曲家に
よってのタッチや表現の違いも勉
強になったと思います。

シテ・デザールでは、滞在中に
地下にあるホールでジョイントコ
ンサートに出演出来ることになっ
ており、私は学校でも同門だった
寮の友達と、試験のプログラムで
コンサートをしました。



シテ・デザールのコンサートホール前にて
丹羽祥子さん 黒宮香織さん

人前で演奏する機会をいただい
て、先生にも熱心にレッスンして
いただき、無事に6段階のアンセ
ニューモンと室内楽のディプロム
を取得することができました。1
年間という限られた期間で、周り
の人からも「あつという間に過ぎ
るよ」と聞いていましたが、充実
した濃い日々を過ごさせて、日本の
生活とは全く違った特別な時間
だったと思います。レッスン、寮
の友達と行ったコンサートやパ
レエ、美術館や教会で見た絵や彫
刻、現地の方達が温かく聞いてく
れた現地のコンサート……。全
ての思い出が深く胸に刻まれてい
ます。
この貴重な経験を活かしてこれ
からもピアノと音楽の勉強をして
いきたいと思っています。

ダルクローズリトミック 夏期セミナー2011開催

8月17日(水)から22日(月)ま
で、ダルクローズ・リトミック夏
期セミナーが開催されました。今
年も、沖縄、東京など全国から多
くの方が受講しました。

このセミナーでは、リトミック、
即興演奏、ソルフエージュのダル
クローズの三本柱のほかに、ワー
クショップ、キーボードハーモニ
ー、指導法、ボディテクニクなど
のカリキュラムが組まれ行われ
ました。横浜から井上恵理先生、
札幌から村中幸子先生が来校さ
れ、酒井徹先生、荒木裕子先生と
ともに熱の入ったレッスンをして
いただきました。

各コースの修了後、受講生の方
全員に履修証書が授与されまし
た。また、2012年春期セミナー
は、3月30日(金)〜4月4日(水)
に開催の予定です。

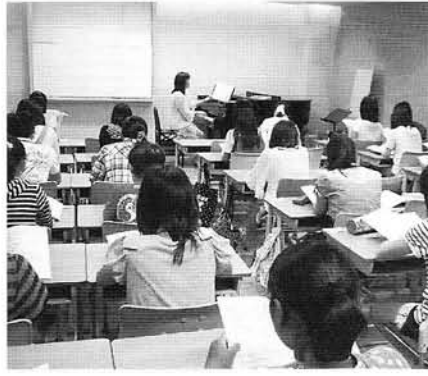


夏期受験準備講習会

音楽大学、高校音楽科受験生を対象にした、2011年夏期受験準備講習会が行われました。

高校音楽科受験の講習は7月25日(月)～29日(金)の内、26日を除く4日間、音楽大学受験の講習は、8月1日(月)～4日(木)に行われました。

カリキュラムは、志望校別に必要な音楽理論、聴音、新曲視唱など、きめ細かい指導が行われました。受講生は、猛暑の中、真剣に取り組んでいました。



ソルフエーじユ 特別レッスン

7月31日(日)、ソルフエーじユ特別レッスンが、4月に引き続き、桐朋学園大学の齋木隆教授をお招きして行われました。この特別レッスンは、日頃のレッスンに加えてレベルアップを図るためのもので、中級、上級の2クラスに

中日文化センター 芸能発表会



齋木 隆先生

分けて行われました。齋木先生の熱心な指導に受講者の皆さんも真剣に受講していました。

合同クラスコンサート

9月25日(日)、当校ホールにおいて合同クラスコンサートの行われました。出演の生徒さん達はお客様の前で、日頃の成果を披露しました。

次回は、2月26日(日)の予定です。



10月1日(土)、2日(日)名古屋栄中日劇場にて2011中日文化センター芸能発表会が開催されました。音楽教室からは2日、下村操講師と佐々木遥香講師の指導でフルートアンサンブルとサウルハーブの生徒19名が参加しました。アイネクライネナハトムジーク、サ



リーガーデなどポピュラー曲をアンサンブルならではの温かい演奏で披露し、お客様から沢山の拍手をいただきました。

行事予定

- ・12月3日(土) 奥村晃平
- ・12月27日(火)
- ・12月27日(火) ソルフエーじユ特別レッスン
- ・12月27日(火) リトミック発表会
- ・1月15日(日) 愛知県芸術劇場大リハーサル室
- ・1月29日(日)・2月19日(日) 受験生のための実技リハーサル会
- ・2月25日(日) ファミリーコンサート
- ・2月26日(日) 合同クラスコンサート

児童科修了演奏会

・3月11日(日)

ダルクローズリトミック春期セミナー

・3月30日(金)～4月4日(水)

入学選考

・3月25日(日)

第80回日本音楽コンクール受賞記念演奏会

・4月19日(木)

愛知県芸術劇場コンサートホール

クラスコンサート

- 12月
 - 4日(日) 寺西千恵・山口 香
 - 17日(土) 河内桂子
 - 18日(日) 近藤倫世
 - 24日(土) 藤原康子
 - 1月
 - 14日(土) 坂井いづみ
 - 15日(日) 伊藤妙子・佐合明子
 - 22日(日) 菊谷全子・星野順一
 - 28日(土) 園山桃子
 - 2月
 - 18日(土) 長柄伸子・有川佳奈枝
 - 4日(土) 山田陽子
 - 18日(土) 日笠美枝
 - 3月
 - 17日(土) 安田みゆ希
 - 18日(日) 安藤知子
 - 24日(土) 小泉孝子
 - 4月
 - 14日(土) 家田智恵
 - 22日(日) 天野智子
 - 5月
 - 26日(土) 伊藤真弓
 - 27日(日) 水谷幸絵

名古屋音楽学校

コース・科目案内

■基礎コース

- ・幼児科(2才～年少)
- ・児童科(年中・年長)
- ・リトミック科(2才～小3)

■専攻コース

- ・ピアノ科
- ・声楽科
- ・弦楽器科
- ・管楽器科
- ・打楽器科(マリンバ)
- ・ソルフエーじユ科
- ・作曲・理論科

■受験特別研究コース

音高・音大受験希望者は志望校・科目別に個人指導します(オーディション有り)

■受験・進路相談室

受験の相談、進路に関する相談などを受けられます。レベルをチェックしアドバイスを受けることができます。

■特設コース

- ・ダルクローズ・リトミックセミナー
- ・リトミック研究会
- ・リトミック指導者養成科
- 大人の音楽教室(月2回レッスン)
- 特設講座
- ・研究会

著名な講師を招聘し音楽指導者のための講座をいたします。

○問い合わせ先

Tel 052-973-3456
Fax 052-973-3330

詳しくはホームページを参照ください。
ホームページ
www.nsmusic.jp